

# エリアウェーブ

峡東教育事務所  
 地域教育支援スタッフ  
 TEL 0553-20-2731  
 FAX 0553-20-2733

閲覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email: [aruga-asvk@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:aruga-asvk@pref.yamanashi.lg.jp)

## 連携セミナー報告

峡東地域教育推進連絡協議会主催

### 「子育てを地域社会の中でどのように連携させていくか」

家庭教育相談員 子育てサポートリーダー 後藤芙美子氏

8月19日(火) 甲州市民文化会館において峡東地域教育推進連絡協議会主催の「保幼小中連携セミナー」が開催されました。

第1部の講演会では、YBSテレビ『ともちゃんちの5時』におばあちゃん役で出演していた後藤芙美子氏を講師に迎えて、「子育てを地域社会の中でどのように連携させていくか」と題して講演をしていただきました。家庭教育相談員・子育てサポートリーダーとして地域で活躍されている立場から、経済的に豊かになった現代社会の抱える問題点を踏まえたうえで、子育てと地域・保幼・学校の連携について「人間らしく生きる」ということをキーワードにお話をいただきました。

第2部では、地域別に16グループに分かれて、「保・幼と小学校、小学校と中学校の連携」、「地域とのつながり」の二つのテーマを柱にして話し合いが行われました。昨年度までの成果と課題を踏まえながら、よりよい連携のあり方について活発な意見交換が行われました。その後、3グループに発表をしていただき、最後に後藤先生から指導助言をいただいてセミナーを終了しました。

後藤先生の講演の内容を一部掲載いたします。



グループ討議の様子

戦後の貧しい時代には、お互いに助け合って生活する心豊かな地域社会があった。経済成長と生活の多様化の中で私たちは「豊かさ」や「自由」を得たが、その代わりに、地域社会の人間関係は希薄化し、人命尊重・規範意識・倫理観・正義感といった大切なものが失われてきている。人間形成の上で最も大切な保幼・小・中の時期に、園や学校と家庭・地域社会が連携しながら子どもの育成にあたるのが大切。「家庭社会」において最初の人間関係(親・家族との関係)を適切に身につけ、それを「近隣社会」「地域社会」との関わりに広げていけるよう、周囲が積極的かつ上手に関わっていく取組が重要。そこがうまくいかないと、近隣や地域からの親切を「おせっかい」と捉えてしまう若者になってしまう。「人の子も我が子」という意識で、地域住民が地域の子どもの育成に関われるような方策を模索していくべき。たとえば学校での職業体験など地域の大人と接する機会をつくるのが効果的。できるだけ多くの人と関わることで子どもをよりよく育てることにつながる。

「地域社会」との関わりを身につけ、「地域社会」の中で育った子どもは、「親孝行」ができる子どもになる。「親を看取る」ことは人間にしかできない人間の本当の姿。親孝行する心を子どもに受け継がせることは、みんなが「人間らしく生きる」ことのひとつとして、地域が担うべきことではないだろうか。

# 保幼・小連携

保幼・小連携のための授業参観並びに懇談会が、5月26日（東雲小）・6月13日（勝沼小）において開催されました。

東雲小は東雲保育所・勝沼保育園・岩崎保育園の担当者、勝沼小はこの三所（園）に加えて塩山カトリック幼稚園の担当者を招いて、1・2年生の授業参観が行われました。懇談会では、主に学習面や生活面について情報交換を行いました。

小学校の先生方からは、生活の様子や学習の様子などについて話されました。保育所（園）の保育士さんからは、児童の成長した姿や学んでいる様子を見て、具体的な感想や意見・質問が述べられていました。

生活の様子では、「集団や時間を意識した動きができること、友達と仲良く過ごせること、集中して人の話を聞くこと、学校生活の約束やルール、食に関すること、着替えや持ち物の整理」などが話題として挙げられていました。

学習の様子では、「読むこと、丁寧な言い方で話せること、返事、鉛筆の持ち方、朝読書、宿題や忘れ物、学習のスピード」などが挙げられていました。保育所（園）・幼稚園の担当者からは、「入学前の段階で子ども達に身につけてほしいことを教えていただきたい」などの質問も出されていました。

夏休みには、小学校の先生方が出向き、保育参観が行われました。今後、子ども同士の交流、保護者説明会なども行われる予定です。家庭と連携しながら、保幼・小の連携が計画的に行われています。



勝沼保育園参観



東雲保育所参観



岩崎保育園参観



東雲小学校授業参観



勝沼小学校授業参観



勝沼小学校での懇談

## 中学生交通・防犯弁論大会

日下部警察署・笛吹警察署管内

日下部署管内の中学生交通安全・防犯弁論大会が8月22日（金）に笛川中学校において開催されました。交通弁論の部で山梨南中学校の角田宗一郎さんが最優秀賞、防犯弁論の部では勝沼中学校の三沢さくらさんが最優秀賞に輝き、県大会への出場が決まりました。

笛吹署管内の中学生交通・防犯弁論大会は8月27日（水）に笛吹市スコレセンターにおいて開催されました。防犯弁論の部で石和中学校の保坂俊希さんが最優秀賞、交通弁論の部では春日居中学校の星野太斗さんが最優秀賞を受賞し、県大会への出場が決まりました。

代表に選ばれた皆さんの県大会での健闘を心からお祈りしたいと思います。



## 笛吹市 ファミリー・サポート・センター 会員募集！

笛吹市では、NPO法人「Happy Space ゆうゆうゆう」への委託により、ファミリー・サポート・センターが開設されました。ファミリー・サポート・センターでは、子育ての手伝いを必要としている方（依頼会員）と手伝いができる方（協力会員）が会員となり、育児の援助を通して地域ぐるみの子育て支援を行なっています。依頼される方に、センターが条件や要望にあった協力会員の方を紹介しします。保育園・小学校（おおむね生後2ヶ月から小学校6年生）への送迎や子どもの一時預かり等、短期的・突発的な援助が必要となった場合にご利用できます。



子育て援助に興味のある方、援助が必要な方、ご相談ください。

お問い合わせ：笛吹市ファミリー・サポート・センター Tel. 055-263-2188  
笛吹市役所 児童課 Tel. 055-261-1904

## 山梨市 ファミリー・サポート・センター 会員募集！

山梨市では、「子育てを手助けして欲しい人」と「子育てを手助けしたい人」が会員となり、地域の子育てを互いに支え合う「ファミリー・サポート・センター事業」を実施しています。

子育てを「ちょっとだけ手伝ってもらいたい」という方、「子育ての経験を生かして手助けをしたい」と思っている方は、ファミリー・サポート・センターに登録をお願いします。

手助けをしたい人（提供会員）は、山梨市内に住民票がある方で、事前に「保育サポート講習会」を受講していただきます。

詳しい内容については、下記担当まで問い合わせてください。

お問い合わせ：山梨市役所 福祉事務所 子育て支援担当（東館1階）  
Tel. 0553-22-1111（内線1151・1152）

## 小学生の学習教室

学びの広場ふえふき

学校教育を支援する活動の一環として、小学生を対象に算数を中心とした学習内容の基礎・基本の習得を支援する学習教室が、笛吹市で8月20日～22日の3日間開かれ、115人の小学生が参加しました。各学年のプリントが用意され、子どもたちは個人指導で「わかるまで」一生懸命に取り組んでいました。学習上の悩みを相談する学習相談も行われ、子どもたちの真剣な姿があらこちらで見られました。参加者からは、「3年生の復習ができてよかった（4年生）」、「今まで苦手なところが克服できた（5年生）」、「問題を解く時の新しい考え方を見つけれられた（6年生）」などの感想が寄せられました。

石和地区はスコレーパリオ、御坂町は農村環境センター、境川町は総合会館、一宮町は桃の里ふれあい文化館、八代町は総合会館、春日居町はあぐり情報ステーションの6会場で実施されました。



# 甲州市「宇宙の学校」

甲州市教育委員会 生涯学習課

「宇宙の学校」は、JAXA（宇宙航空研究開発機構）とKU—MA（子ども・宇宙・未来の会）が提供する、テキストや身の回りにある教材・道具を使って、体育館などの広い会場での講演・実験（スクーリング）や家庭での学習を、親子で一緒に楽しく行う学校です。

6月22日（日）に甲州市塩山ふれあい館において第1回の「宇宙の学校」が開かれ、36組の親子が参加しました。最初にKU—MA理事の並木道義さんによる講演が行われ、小惑星探査機「はやぶさ」の回収についての話や宇宙の仕組みについてのわかりやすい説明に、参加者たちは熱心に聞き入っていました。講演の後、みんなでゴミ袋を使った熱気球作りに取り組みました。日川高校SSHの生徒と塩山中学校科学部の生徒がボランティアとして参加して、子どもたちと楽しく熱気球を作りました。宇宙の学校は年間5回開催される予定です。



ボランティアの中・高生



保坂教育長のあいさつ



並木理事の講演の様子

## 親子ふれあいマストり大会

山梨市子どもクラブ指導者連絡協議会

山梨市教育委員会 生涯学習課

6月28日（土）山梨市三富久渡の沢つり場において、市内の小学生の親子36組約78名が参加して親子ふれあいマストり大会が行われました。

あいにくの雨模様の中でしたが、みんな真剣な表情で釣り糸を垂れていました。初めて釣りに挑戦するというお母さんと小学生は、悪戦苦闘しながらも見事にマスを釣り上げて、うれしそうに声をあげていました。時間が経過するうちに、子どもたちの釣り竿を操る姿も様になってきて、次々とマスを釣り上げるたびに会場のあちらこちらで大きな歓声があがっていました。



開会式の様子



いよいよ釣りの開始



子どもたちも立派な太公望

## 第1回山梨市子ども科学教室

山梨市教育委員会 生涯学習課

6月28日（土）に第1回子ども科学教室が開催され、40名の児童が参加しました。子ども科学教室支援会の並木国夫先生より約1時間にわたって万力公園内の動植物についての説明を受けました。その後、市民会館で同支援会の栗林賢治会長を講師に、JAXAの教材を利用した「星の砂」についての授業を受けました。教室は、10月と来年1月の計3回開催する予定です。



# 「確かな学力」プロジェクト

甲州市教育委員会

7月2日(水)に甲州市勝沼市民会館において、甲州市内小中学校の先生方が一堂に集まり、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの教育講演会が、早稲田大学河村茂雄教授を講師に招いて開催されました。

「甲州市小中学校 2013～2014度の取組の結果の変容」と題して、甲州市の児童生徒の学力の全体傾向および学習集団の型の変容についての分析や、NRT(標準学力検査)とも合わせた個々の子どもの分析事例について興味深い講演がなされ、今後の取組のためにたいへん参考になりました。



## キャンプ in 田貫湖

～富士山の麗で食う寝る遊ぶ～

甲州青年会議所は、青少年育成事業として8月2・3日(土・日)に田貫湖キャンプ場で子どもキャンプを実施しました。市内の小学生30名が参加して、大自然の中でテントを張り、星空観察や洞窟探検、チーム別食材確保などの体験活動を行いました。普段、自然の中での生活や体験をする機会が少ないので、子どもたちにとって、充実した有意義な時間を過ごすことができました。



## わんぱくシュノーケリング in 西伊豆

公益社団法人山梨青年会議所

山梨青年会議所では、7月26・27日(土・日)に市内の小学3～6年生を対象にしたシュノーケリングの体験活動をおこないました。西伊豆の豊かな自然とふれあい、海でのシュノーケリングなど普段の生活では味わうことのできない体験をすることで感受性を豊かにし、親元を離れ仲間と共に活動することでコミュニケーション能力の向上を図ることができました。



# 学童保育

御坂児童センター

夏休み中の1日学童保育が始まり、各学童センターではさまざまなイベントがおこなわれました。御坂学童センターでは郵便局主催の展示会に出品する絵手紙づくりや、子どもたちの「朝ごはん」の習慣化をはかる食育講座の一環としてのサンドパンづくりなどがおこなわれました。また、実験学習として蒸しパンづくりもおこなわれ、子どもたちはパンが次第に膨れる様子に歓声をあげながら、どうして電気でパンがつかれるのかなど関心を持って取り組んでいました。最後にできあがった蒸しパンをおいしそうに試食し、とても楽しそうでした。





和敬・叡智・創造

# 情熱を力に 夢をカタチに

# EZ Area Web 2014

## 塩山高等学校の歩み

部活動や諸行事に、地域との交流に、学校全体を挙げて取り組んでいます。今年の塩山高校のがんばる姿をご紹介します！

### 諸活動がんばる

#### 1 6/24(火)~25(水) 菩嶺祭

舞台発表、リレー、出店等、今年の学園祭も塩高生のエネルギーが弾けました。

#### 2 8/5(火) ことぶき学院講座

地域住民に、商業科生徒及び職員による初級パソコン教室を実施しました。

#### 3 7/30(水)~ 全国高校総体南関東大会補助員

山梨県開催競技の補助役員として多数の生徒・職員が活躍しました。自転車競技の式典における本校生徒のアナウンスは好評でした。

#### 4 8/16(土) 小田原福祉会納涼祭

生徒会・吹奏楽部が中心となり、地域のイベントに参加しました。

#### 5 8/17(日) 学校説明会(於 山梨市花かげホール)

生徒が主役の本校学校説明会は、「生徒のがんばりが直接伝わってわかりやすい」と毎年好評をいただいています。



### 部活動をがんばる

**関東大会出場** 女子ソフトボール部、相撲部、女子柔道部、ウエイトリフティング部

**全国大会出場** 女子ソフトボール部、相撲部、女子柔道部、ウエイトリフティング部

放送部



### 広報誌『EZ times』を創刊

塩山高校の生徒達が一生懸命がんばっている姿を多くの人に知ってもらいたい。そんなおmoiを含めて、広報誌『EZ times』を創刊し、第2号も作りました。生徒の持つ「力」を感じていただけます。

『EZ times』創刊号

『EZ times』第2号

